



業務の中で…生活の中で…
“賢い選択” していますか？

平成 28 年（2016 年）9 月 1 日
地域エネルギー課（EMS 事務局）

平成 27（2015）年度の環境マネジメントにおける取組結果について（報告）

1 宝塚市の環境マネジメント

市の事務事業による温室効果ガス（CO₂ 換算）排出量を削減するために、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づいて、ECO オフィスプラン【第 3 次宝塚市環境実行計画（事務事業編）】を 2011 年度に策定しました。当該計画において、取組目標を設定し、宝塚市独自の環境マネジメントシステム（EMS）を運用しています。

2 2015 年度の目標値

2015 年度の目標値は、2010 年度の実績を基準に、エネルギーの使用の合理化等に関する法律や ECO オフィスプラン【第 3 次宝塚市環境実行計画（事務事業編）】での取組目標をもとに設定しています。（表 1 のとおり）

表 1 2015 年度の目標値

項目	単位	基準値	目標値	目標値の算出根拠
紙の購入量（A4 換算）	枚	54,827,253	45,888,368	2013 年度実績
水	m ³	476,675	462,375	基準値より▲3%
ガソリン	ℓ	130,548	126,632	基準値より▲3%
灯油	ℓ	139,017	132,066	基準値より▲5%
軽油	ℓ	67,235	63,829	2011 年度実績
重油	ℓ	700	0	2011 年度実績
液化石油ガス（LPG）	kg	9,863	9,370	基準値より▲5%
都市ガス	m ³	2,645,970	2,257,705	2013 年度実績
電気使用量	kWh	49,513,051	47,037,398	基準値より▲5%
自動車の走行距離	km	1,157,566	1,122,839	基準値より▲3%

※基準値から算出した目標より上回って削減している項目については、該当する年度の実績値を目標値としています。

3 2015 年度の目標達成状況

以下（表 2）のとおり一部を除き達成できていますが、2015 年度の削減要因としては、本庁舎の食堂部分の空調停止、中央公民館の閉鎖、浄水場間の効率的な水運用などがありますが、それに加え、職員のみなさまによる不要な照明の消灯や節電意識の定着による小さな取組の積み重ね等が挙げられます。

一方で、紙の購入量や自動車の走行距離等は、業務での必要性などから目標を削減することができませんでした。

表 2 2015 年度の目標達成状況

項目	単位	目標値	実績値	達成状況
紙の購入量（A4 換算）	枚	45,888,368	63,264,621	未達成
水	m ³	462,375	456,376	達成
ガソリン	ℓ	126,632	128,793	未達成
灯油	ℓ	132,066	135,658	未達成
軽油	ℓ	63,829	61,881	達成
重油	ℓ	0	445	未達成
液化石油ガス（LPG）	kg	9,370	12,344	未達成
都市ガス	m ³	2,257,705	2,002,533	達成
電気使用量	kWh	47,037,398	42,359,258	達成
自動車の走行距離	km	1,122,839	1,140,251	未達成

4 今後の取組

地球温暖化の要因とされている温室効果ガスは、宝塚市域全体で排出されている量のうち、市の事務事業による量が約 3% を占めており、率先してその排出を抑制することが求められています。

施設への省エネ機器や再生可能エネルギーの導入促進、市民や職員のみなさまへ向けた省エネ意識の啓発を通じ、必要性を共有していくことで、次年度以降も省エネルギー・省資源化を推進していきます。